

### 平成 27 年度講演会報告

千葉市生涯学習センターにて、千葉市図書館情報ネットワーク協議会講演会「カーリルと図書館」を開催しました。講演会には、一般公募を含め、59 人の方々にご参加いただきました。

秋晴れのなか、日本最大の図書館検索サービスを提供されている「カーリル」の吉本龍司氏(株式会社カーリル 代表取締役)をお招きし、高速で確実な検索結果を提供し続けるための工夫や、カーリルが考える図書館や図書館の検索システムについてご講演をいただき、大変貴重な時間となりました。今後の図書館サービスを改めて考える、非常に有意義な講演会となりました。



千葉市生涯学習センター

日 時 平成 27 年 10 月 9 日(金) 14 時 00 分～15 時 30 分

会 場 千葉市生涯学習センター 3 階 大研修室

テーマ 「カーリルと図書館」

講 師 吉本 龍司氏(株式会社カーリル 代表取締役)



1/吉本氏の講演会の様子。図書館システムの問題点は、“全国で導入されているが、使い方や画面もバラバラ…”

2/吉本氏の講演会の様子。

3/吉本氏の講演会の様子。“カーリルのめざすもの”

4/吉本氏の講演会の様子。“議論するより作ったほうが早い。開発期間は、2 か月”

5/質疑応答。



## 講演会報告

### 「講演会『カーリルと図書館』を聞いて」

千葉市議会図書室

大谷 恵美

“これから図書館に期待することは、テクノロジー、情報や知識の格差をなくしていくこと。”

平成 27 年 10 月 9 日(金)、千葉市生涯学習センター大研修室にて、千葉市図書館情報ネットワーク協議会の講演会として、株式会社カーリル代表取締役である吉本 龍司氏をお招きし、「カーリルと図書館」と題して講演が行われました。

「カーリル」は、全国 6,700 館以上の図書館に対応し、図書館法に基づく公共図書館の 93% を網羅した日本最大の図書館蔵書検索サービスです。

講演では、カーリルが出来るまで、カーリルの課題と新しい取り組み、カーリルが目指すものについて、分かりやすく面白いお話がありました。

講演を聞いて、図書館を身近に感じる事が出来れば読みたい本があった時、図書館で借りるという選択も当たり前になると思えました。図書館が提供している蔵書情報等を魅力的に提供することで、図書館に興味のなかった人達も興味を持ち始める。カーリルは本と図書館をつなげ図書館を身近な使いやすい存在に変えるとともに、今まで気づかなかった図書館の魅力を教えてくれていると思えました。

以下、簡単ではございますが、講演の主な内容をご報告します。

#### 「カーリル」が出来るまで

吉本氏は、高校時代、大学時代ともに図書館で本を借りたことはありません。また、社会人となりフリーエンジニアとして、地元中津川市の子育て支援サイトを更新するために図書館と交渉した際、図書館のウェブサービスがあまり利用されていないことや図書館員のやる気のなさを知りました。図書館で本を借りたこともなく、図書館に対して良い印象を持っているとは言えない吉本氏でしたが、「NOTA」という世界向けのウェブサービスを提供する会社での企画会議において、「図書館って面白いんじゃないか」と吉本氏が提案したことが、カーリル誕生のきっかけとなります。全国にある図書館サービスは、それぞれ使い方が異なり、その図書館にある本しか探せないという問題がありまし

た。そこで、「自分が本を探したらどうするか」を考えて、書名の検索と図書館の検索が一発で出来るサービス「カーリル」を作ることになったのです。インターネット上に図書館の存在を作れないだろうか。図書館と個々の本はつながっていない。本を借りるために図書館にリンクしたいという思いの受け口にカーリルはなれるのではないかと思い取り組み始めました。

#### 「カーリル」の抱える課題

最初の課題は、ライセンスと社会的合意の形成でした。カーリルは図書館が持っている情報を使って運営しているため、図書館が持っている情報に対する著作権の問題が重要となりますが、著作権の問題がない蔵書情報を使いサービスを提供しています。また、作った情報は独り占めすることなく、誰でも利用できるように API(※1)を無償で提供しています。今では、スマホアプリや国立国会図書館の検索サイト等でもカーリルのデータが使われています。

また、本の同定を ISBN(※2)に頼っているため、ISBN(※2)がない本に弱いこと、地域資料や専門図書館に弱いことも課題として挙げられますが、大きな課題は図書館システムの動作が遅いことです。カーリルは各図書館からリアルタイムで本の情報、所蔵情報を集めて表示しているため、カーリルの利用が増えると、図書館システムへのアクセスがいつぱいになり図書館システムが止まってしまいます。そのため、図書館システムのベンダー向けに講習を行い、図書館システムのスピードを向上させています。その甲斐あってか 5 年前に比べ図書館システムのスピードは 2 倍以上に向上しているそうです。

#### 「カーリル」の新しい取り組み

現在、カーリルは図書館等と一緒に試験的な実験を行っています。例えば、図書館の配架図をわかりやすくして、地図からズームすると図書館の位置、そしてその図書館の配架図が見えるようにしたり、屋内位置情報を活用することで、図

書館内で探している本まで案内する取り組みを行ってまいります。

また、名古屋大学とは、自分が興味のある本棚に関連する授業を検索し過去の授業の動画を見ることが出来るサービスを研究しており、一般財団法人 機械振興協会の BIC ライブラリと共同で進めている「Deep Library Project」では、専門図書館を見つける仕組みとして、入力したキーワードに強い図書館をサジェスト表示する研究など様々なことに取り組んでいます。いろいろな試験的な実験を行っていく中で、吉本氏はデータを図書館で活用していく未来が来ているのではないかと、そのことは図書館がこれから生き残っていくうえでの鍵でもあるし、チャンスでもあると感じているそうです。

#### 「カーリル」が目指すもの

吉本氏は、活字離れ・読書離れから図書館が利用されなくなったり、交通の便が悪い農村等ではネット通販サービスの Amazon に頼った生活をしているという現実があったりするが、図書館は始まったばかりだと思う。これから図書館に期待することは、テクノロジー、情報や知識の格差をなくしていくこと。時には産業界等とぶつかりながら議論し、どうやって格差を埋めていくか、ビジネスとして成立させるかを一緒に考えていけるのではないかと。図書館が持っている情報の流通性を上げていけば、図書館はもっと自由になれるのではないかと。カーリルは褒められる存在から文句を言われる当たり前の存在にしていきたい。そして、日本国内の図書館をボトムアップしていきたいと熱く語ってくれました。

(※1)API:(Application Programming Interface) API とは、あるコンピュータプログラム(ソフトウェア)の機能や管理するデータなどを、外部の他のプログラムから呼び出して利用するための手順やデータ形式などを定めた規約のこと。

(※2)ISBN:(International Standard Book Number)ISBNとは、世界共通で図書(書籍)を特定するための番号のこと。国際標準図書番号。

# 加盟館紹介展報告

事務局 千葉市中央図書館  
秋葉 千恵

“各館独自の工夫を凝らした展示”

## 「加盟館紹介展」

千葉市図書館情報ネットワーク協議会について多くの方に知っていただき、加盟館を利用していただくことを目的に、平成 18 年度から「加盟館紹介展」を実施しています。

今年度開催期間中は、約 70,300 人の方々にご来館いただきました。加盟館紹介展のパネルは、思わず足を止めてしまう様な各館独自の工夫を凝らした展示でした。

今回の加盟館紹介展では、「この図書館が気になったら、シールをはってね♪」とパネルをご覧いただいた方のリアクションが分かる



ように、各館のパネルにシールとシール台紙を設置しました。このシールは、開催中に追加が必要になるほどで、たくさんの方に興味を持ってご覧いただくことができましたと思います。

開催中は、ご来館された方々が、それぞれの加盟館のパネルをじっくりとご覧になる姿が度々見受けられました。また、ご用意させていただいたパンフレットなども多くの方々にお持ち帰りいただき、大変好評のうちに終了することができました。

[開催期間]

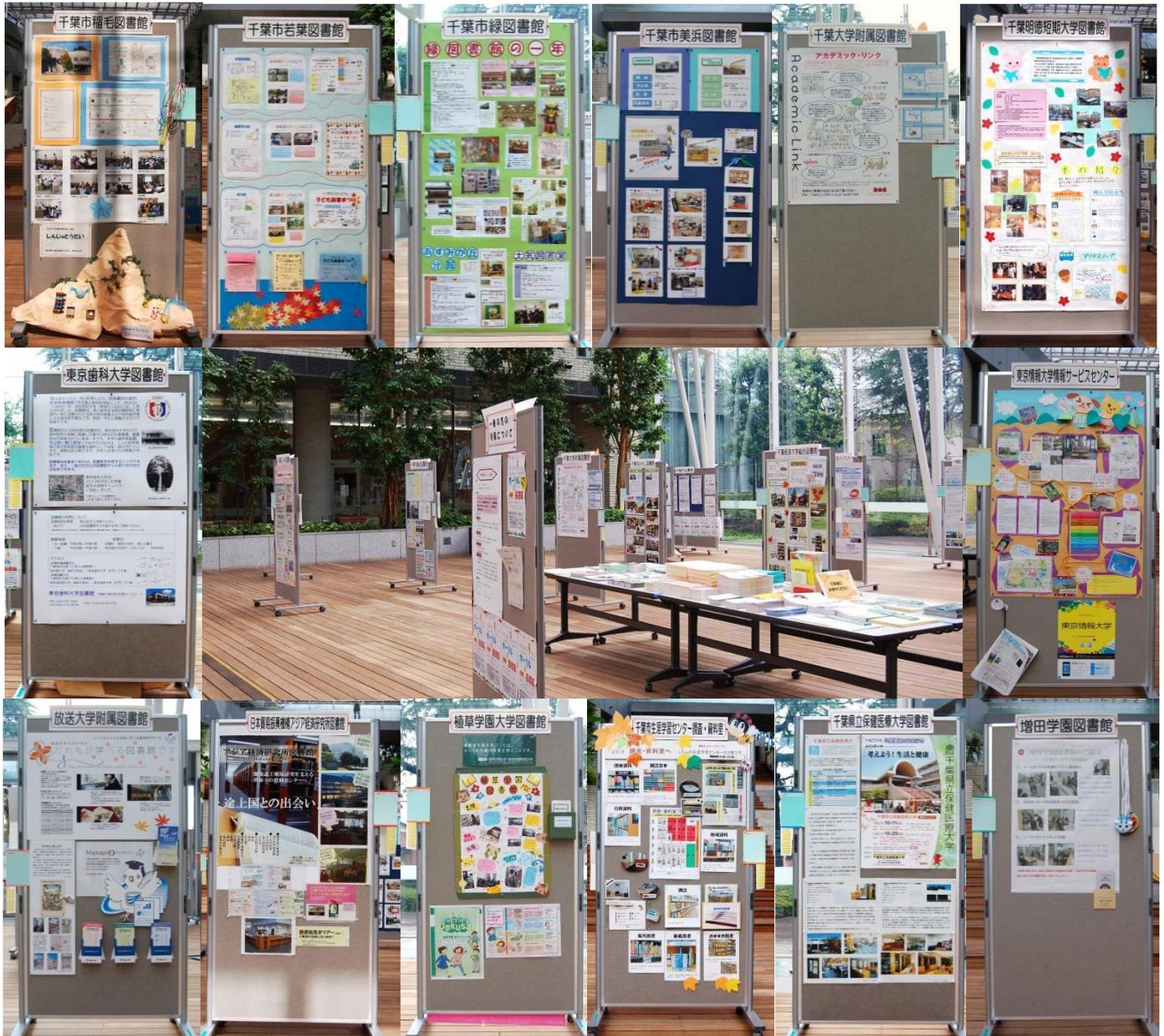
平成 27 年 10 月 2 日(金)～22 日(木)

[会場]

千葉市生涯学習センター

アトリウムガーデン(1 階)





## 加盟館紹介：千葉市中央図書館

### 千葉市中央図書館データ

所在地：千葉市中央区弁天 3-7-7

TEL：043-287-3980

FAX：043-287-4074

開館日時：火～金 9:30～21:00、土・日・祝・休日 9:30～17:30

休館日：月曜日(ただし祝日・振替休日の場合は翌日)、図書整理日(第3木曜、ただし祝日の場合は翌日)、年末年始、特別整理期間

利用対象：条件なし

その他：【閲覧】条件なし

【貸出】住所、氏名の確認できるものの提示

【複写】複写サービス有(白黒・カラー)

【座席数】閲覧席 451席、研究個室 15室、自習室 96席

千葉市図書館 HP:

<http://www.library.city.chiba.jp/>

平成 13 年 4 月に、千葉市中央図書館・生涯学習センターの複合施設として千葉市中央図書館は開館しました。

フロアはジャンルごとのコーナーに分かれており、各コーナーでは、新しい本との出会いをお手伝いする展示を行っています。

また、本を読むための閲覧席や、図書館の資料を使ってゆったりと調べものができる研究個室、グループで図書館の資料を使った研究や研修をするのに便利なグループ学習室・グループ研修室、落ち着いた環境で勉強したいときなどにぴったりの自習室など、図書館の資料を活用していただけるよう様々なスペースを設けています。



千葉市図書館情報ネットワーク協議会は、千葉市内の館種を越えた図書館ネットワークを通じて、情報提供能力を強固にし、図書館サービスの向上を図ると共に、学術研究及び生涯学習の発展に寄与することを目的として、平成 6 年 1 月に設立。この Network 通信は、加盟館の情報交流並びに協議会の活動状況を加盟館利用者等にお知らせすることを目的とし、平成 10 年 10 月から発行している。

Network 通信 No.47 2015 年 12 月 27 日発行

千葉市図書館情報ネットワーク協議会事務局：

〒260-0045 千葉市中央区弁天 3-7-7 千葉市中央図書館内

TEL 043-287-3980 FAX 043-287-4074

千葉市図書館情報ネットワーク協議会 HP：<http://www.ccal.jp/>

